

2025年3月1日

中東関係者各位

九門康之

## 「中東なう」2025年3月

### 1. 2025年の中東（続き）～融和はどこへ向かうのか

2021年以降、米軍のプレゼンス低下がきっかけとなって、中東諸国は融和へと舵を切った。そこには、米国には頼れないという危機感と、自国の利益確保という計算があった。2025年に入り、融和の流れが変化している。きっかけは、シリアのアサド政権崩壊だ。想定外の出来事だった。それまで、シリア国内の治安を支えていたレバノンのシーア派集団ヒズボッラは、イスラエルの執拗な攻撃で弱体化していた。2023年10月のイスラエル・ハマス衝突後、ハマスを支えていた勢力に打撃を与えることがヒズボッラ攻撃の目的だった。しかし、ヒズボッラの指導者ナスラッラが殺害されるに至り、流れは別の方角に向かった。シリア国内治安への波及である。動きを観察していたトルコは、シリアの反政府勢力「タハリール・アル・シャーム機構」(HTS) **هيئة تحرير الشام** に状況を伝えたと推測される。HTSは迅速に行動し、瞬く間に首都ダマスカスを陥落させた。

この想定外の成功は、中東の外交バランスに影響を与えた。2012年のムスリム同胞団支援以降、中東諸国の中で政治的立場が悪化していたトルコに再び咲きのチャンスとなった。トルコは、HTSを支援することで再びイスラーム色のある政権のパトロンになろうとしている。他方、サウジアラビアは表面的にはシリアの新政権を歓迎しているものの、アサド政権のアラブ連盟復帰を認めていただけに、新政権をどこまで信頼するのか不透明な部分がある。加えて、話を複雑にしているのは、シリア領内のクルド勢力シリア民主軍(SDF)の存在である。トルコはSDFを毛嫌いしている。他方でSDFは、米国の支援をうけており、トルコの対応を難しくしている。シリア新政権はトルコよりの姿勢で臨んでおり、2月の「国民対話会議」にSDFは招待されなかった。

シリアの変化が融和継続の呼び水となるのか、新たな対立の火種となるのか、シリアを挟んだ南北のらみ合いが続いている。

### 2. シリアの変化～中東諸国への経済的影響

現状、地政学リスクは大きく変化していない。シリア新政権は、武力衝突を回避している。また、イスラエルにとって、シリアが非イラン化したことで、眼前の敵意は弱まった。一方、イランは、シリアを失ったことでレバノンへの陸の連絡通路を絶たれた。原油市場は、これらを反映し落ち着いた動きとなっており、70ドル前後の水準である。

ただし、シリアを挟んだトルコとサウジアラビアの政治的かけひきは続いており、イスラエル・イラン衝突の可能性もなくなったわけではない。短期的には、シリアの変化は中東経

済に大きな影響は与えないといえるが、中期的にみて安定期に入るとの判断は難しい。

### 3. その他のニュース

●エジプト・ヨルダン及びアラブ諸国、パレスチナ人の移住を拒否●アルジェリア、パレスチナ独立を条件にイスラエルとの国交に言及●英ディアジオ（酒類製造）UAE に現地製造拠点検討●バハレーン、空港改修工事●イラク、投資拡大・債務減少●ドバイ、自動車区域を設置●GCC、水・発電プロジェクトで日本勢上位に●GCC、ドル建て資金調達拡大●トランプ大統領のガザ所有発言、中東諸国一斉に反発●エジプト、ガザ統治はハマス抜きで●UAE、エティハド航空民営化●UAE、子供へのアラビア語教育義務付け●エジプト、大博物館 7 月に正式オープン●サウジアラビア・イラン、両国外相が電話で地域情勢意見交換●

以 上

Copyright 2025 Yasuyuki Kumon Institute（九門康之研究所）

All rights reserved. Except for brief quotations embodied in articles and reviews, no part of this publication may be reproduced in any form or by any means, including photocopy, without permission from Yasuyuki Kumon Institute.

当資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さいますよう、宜しくお願い申し上げます。当資料は信頼できるとされる情報に基づいて作成されていますが、その正確性を保証するものではありません。内容は予告なしに変更することがありますので、予めご了承下さい。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されています。全文または一部を転載する場合は出所を明記してください。